沖縄県公安委員会が取り扱う個人情報の保護に関する規則（抜粋）

（開示請求における本人確認手続等）

第5条 条例第14条第2項に規定する保有個人情報の本人であることを示す書類で実施機関の規則等で定める書類は、次に掲げる書類とする。

- (1) 開示請求書に記載されている開示請求をする者の氏名及び住所又は居所と同一の氏名及び住所又は居所が記載されている運転免許証、旅券、健康保険の被保険者証、外国人登録証明書、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の44第1項に規定する住民基本台帳カードその他法令の規定により交付された書類のいずれかであって、当該開示請求をする者が本人であることを確認するに足りるもの
- (2) 前号に掲げる書類をやむを得ない理由により提示し、又は提出することができない場合にあっては、当該開示請求をする者が本人であることを確認するため公安委員会が適当と認める書類
- 2 保有個人情報の本人が開示請求書を公安委員会に送付して開示請求をする場合には、当該開示請求をする者は、前項の規定にかかわらず、同項各号に掲げる書類のうち2種類を複写機により複写したものを公安委員会に提出すれば足りる。
- 3 条例第14条第2項に規定する本人の法定代理人であることを示す書類で実施機関の規則等で定める書類は、戸籍謄本その他その資格を証明する書類（開示請求をする日前30日以内に作成されたものに限る。）及び法定代理人自身であることを証明するために必要な書類とする。
- 4 前項に規定する法定代理人自身であることを証明するために必要な書類については、第1項の規定を準用する。
- 5 法定代理人が開示請求書を公安委員会に送付して開示請求をする場合には、当該開示請求をする者は、前2項の規定にかかわらず、第3項に規定する書類を複写機により複写したものを公安委員会に提出すれば足りる。この場合において、法定代理人自身であることを証明するために必要な書類については、当該書類のうち2種類を複写機により複写したものを提出するものとする。
- 6 条例第13条第2項の規定により開示請求をした法定代理人は、当該開示請求に係る保有個人情報の開示を受ける前にその資格を喪失したときは、直ちに、書面でその旨を公安委員会に届け出なければならない。
- 7 前項の規定による届出があったときは、当該開示請求は、取り下げられたものとみなす。